山梨ライトハウス

第101号

発行／社会福祉法人 山梨ライトハウス
〒400-0064　甲府市下飯田2-10-1
TEL/055-222-3502　FAX/055-233-0124
URL　http://yamanashi-lighthouse.or.jp

情報文化センター　電話／055-222-3502
貸出・用具専用／055-223-1113
青い鳥ホーム　電話／055-242-8244
青い鳥成人寮　電話／055-224-5060
青い鳥支援センター　電話／055-267-7480
ヘルパーステーション青い鳥／055-221-0880
居宅介護支援事業所青い鳥／055-242-9020
相談支援事業所ヴィーヴィ／055-221-1260
青い鳥老人ホーム　電話／0553-26-6631
青い鳥ケアホーム　電話／055-235-5566

社会福祉法人 山梨ライトハウス

山梨ライトハウスの理念は「視覚障害者の未来（あす）を照らす光の道標（みちしるべ）となること」です。

CONTENTS

巻頭言……1
ライトハウスニュース……2〜5
感謝状・表彰状を贈呈……6
障害者文化展知事賞受賞……6
新人職員紹介……7
お知らせ……8

誰もが読書をできる社会を目指して

情報文化センター所長
青い鳥支援センター施設長
土屋　浩司

本を読むということは、知識を得るだけでなく、心を動かし、世界を広げ、人とつながる大切な手段です。けれども、視覚に障害がある方や、活字を読むことに困難がある方にとって、本を「読む」ことは、必ずしも簡単ではありません。

現行の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」通称「読書バリアフリー法」は、そうした方々にも等しく読書の機会を保障しようという想いから生まれました。「読みたい」と願うすべての人に、必要なかたちで情報が届く社会へ。読書を通じて誰もが学び、楽しみ、生き生きと暮らしていけるように、そんな社会の実現をめざす法律です。

情報文化センターをはじめ、全国の点字図書館では、点字図書や音声図書、拡大図書など、利用者一人ひとりに合った資料を提供し、読書の楽しみを届けるお手伝いをしてきました。法律の成立は、私たちの活動の追い風となり、図書館、自治体など、さまざまな立場の人たちと手を取り合う機会も増えています。中でも、全国視覚障害者情報提供施設協会が運営する「サピエ図書館」は、全国のボランティアが製作した点字図書や音声図書の検索・ダウンロードができるインターネット図書館です。活字の本を読むことが困難な方が利用できる図書館ですが、一般にはあまり周知されていないのが現状です。誰もが読書の楽しさや学びの機会を得られるよう、「読みたくても読むことができない」というすべての人に向けて、今後も普及と啓発に取り組んでまいります。

読書は、誰にとっても「あたりまえ」に楽しめるものであってほしい。私たちは、これからも利用者の声に耳を傾けながら、一冊でも多くの本が、一人でも多くの手に届くよう日々の業務に努めてまいります。

録音の様子

点字触読

ライトハウスニュース

NEWS NEWS NEWS

●情報文化センター●

点訳奉仕員養成講習会が始まりました

六月六日、令和七年度点訳奉仕員養成講習会を開催し、昨年同様八名の受講者が参加されました。

開講式では、受講者の方々の自己紹介も行われ、なぜ講習会に参加しようと思ったかなど、それぞれの思いを話されていました。

また、当センター職員による触読や実際に製本された点訳図書の紹介なども行いました。

開講式の後は、第一回目の講習を行い、点字の歴史や仕組みなどを学んだあと、実際に練習器を使って点字を打ちました。

参加者の方々からは「点訳することで一冊の本が何巻にもなることを知った」、「ネット上でデータをダウンロードして読む方法があることを知った」という声がありがっていました。

これから全二十回という講習を経て、一人でも多くの受講者が点訳奉仕員として活動してほしいと思います。

開校式の様子

点字を打つ受講者

職員による実演

講習会の様子

●青い鳥支援センター●

住みなれた地域で生活するために…

青い鳥支援センターでは、利用者が住みなれた地域での生活を継続できるように、利用者に寄り添う支援を基本方針に事業をおこなっています。

青い鳥支援センターでおこなっている事業の一つであるヘルパーステーション青い鳥では身体介護、家事援助、同行援護、移動支援など、多岐にわたる支援をおこなっています。

今回は身体介護、家事援助においてヘルパーがおこなっている支援のイメージを紹介します。

身体介護の入浴介助のイメージ

家事援助の料理　そば･玉子焼き･肉じゃが

●青い鳥成人寮●

シンガーソングライター2名来寮

★四月十一日
「松尾貴臣さんホスピタルライブ」
★五月十三日
「ともちかやっくん笑顔ライブ」があり素敵な歌声にみなさん大盛況でした。
　全国の病院や福祉施設、障害者施設やショッピングモール、保育園に訪問し活躍している方々です。
　お忙しい中、青い鳥成人寮にも来てくださいました。

花見とバイク

ホームの桜満開に合わせてお花見会を行っていたところ、駐輪場にあった職員のバイクに乗ってみたいとリクエスト。触れて形を確かめて、エンジンの鼓動を感じたあとは、思いっきり足を上げて跨ります。「思っていたより高いね」、「ちゃんとヘルメット被るから、いつか後ろに乗せて走って」と楽しそうでした。

開所記念ではピアノの音色に耳を傾け、ちょっとツアーで春の陽気を満喫し、花の日訪問で生徒さんたちと和やかに交流し、訪問販売で夏服用意と、春は行事がいっぱいです。

今年も咲いた

きれいねぇ

ちょっと緊張

サマになってます

開所記念

花の日訪問

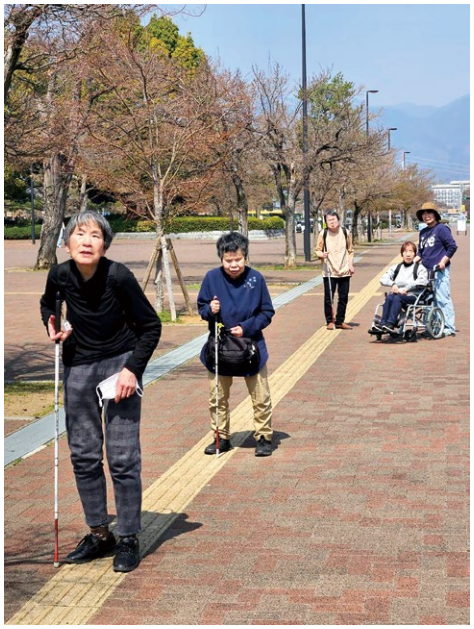
訪問販売

ちょっとツアー

●青い鳥ケアホーム●
春のイベント

春の訪れと共にいちご狩り・バーベキュー・サーカスといった行事がありました。食べることがとにかく楽しみ！バーベキューでは炭起こし名人に料理名人がいるケアホーム、肉だけでなく野菜も本当においしく焼け、大喜びのみなさんでした。次は何を食べましょう…とわくわくしています。

焼きマシュマロもおいしいよ



食後は運動！

ピエロと撮ったつもりで！

またサーカスは、テレビ山梨開局五十五周年記念事業（社会福祉事業協賛）ポップサーカス山梨公演にご招待いただきました。ありがとうございました。

●青い鳥ホーム●
青い鳥学園の同窓会

「盲児施設青い鳥学園」は当法人が運営していた施設で、昭和三十八年に開設、視覚障害と他の障害を持つ重複障害児の療育に取り組み、平成元年に残念ながら閉園しました。青い鳥ホーム利用者の中には学園の卒園生がおり、久しぶりに同窓会に出席した感想を点字で寄せてくれました。

Yさん「久しぶりに皆さんと会うことができてとても楽しかったです。その反面、何人かの人が亡くなってさみしかったです」

Aさん「食事の前には学園で歌っていたご飯の歌『ご飯だ、ご飯だ　さぁ食べよう　風は爽やか心も軽く　だれも元気だ、感謝して楽しいご飯だ、さぁ食べよう』これを〝線路は続くよどこまでも〟のメロディで昔のように歌いました」

Sさん「私は初めて参加しましたがとても良い雰囲気であっという間に時間がたちました」

Nさん「話のなかで親が亡くなったって聞きました。私もそうなるかなぁと思いました」

今でこそ早期療育は一般的ですが、まだ福祉施策が充実していない昭和の時代に、入所生活を通じて重複障害児の可能性に寄り添ってこられた先輩職員の方々を尊敬いたします。今回の同窓会が最後となるようですが、これからも利用者の皆さんにとって学園での思い出は大切に残ることでしょう。

青い鳥学園同窓会

感謝状・表彰状を贈呈

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防のため、役員会席上での贈呈はできませんでしたが、萩原理事長より次の皆さまに感謝状並びに表彰状が贈られました。

●感謝状（福祉功労者）

ボランティア活動を通じて、５年以上継続的に活動し、障害者福祉の向上に尽力しその功績が特に顕著で他の模範と認められた方に贈られます。

・佐野　晶子 様（青い鳥奉仕団　音訳奉仕）
・志村香代子 様（青い鳥奉仕団　音訳奉仕）
・佐藤　しづ 様（青い鳥奉仕団　点訳奉仕）
・長嶋　明美 様（青い鳥奉仕団　点訳奉仕）
・堀内美紀子 様（青い鳥奉仕団　点訳奉仕）

●表彰状（永年勤続者）

施設職員として10年以上勤務し、その功績が顕著で他の模範と認められた職員へ贈られます。

・土屋　浩司 様（情報文化センター　永年勤続）
・酒井　夏美 様（青い鳥ホーム　永年勤続）
・越石やよい 様（青い鳥支援センター　永年勤続）
・標　　喬之 様（青い鳥ケアホーム　永年勤続）

●いきいき輝き賞

障害を克服し自立生活、生涯学習、社会参加などに積極的に取り組み、心豊かな生活を営み、いきいき輝いて生活するとともに、他の利用者の模範と認められた方に贈られます。

・鈴木　用子 様（青い鳥成人寮）

いきいき輝き賞ありがとうございます。
わたしは陶芸班に所属し、お皿や箸置きなどを作っています。これからも作業を頑張り、お友達とも仲良く楽しく生活していきたいです。

皆様、おめでとうございます!

障害者文化展知事賞受賞

第二十七回障害者文化展が開催され、多くの作品の中から、陶芸班の作品『秋の収穫物』が知事賞に選ばれました。成人寮の玄関に飾ってありますので、是非ご覧ください。

新人職員紹介

（令和6年7月～令和7年5月採用）

①氏名　②所属　③職種　④好きな言葉、または一言

①川手（かわて） 怜奈（れな）
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④笑顔を絶やさず仕事を頑張りたいです。

①上野（うえの） 真菜（まな）
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④笑う門には福来る

①市川（いちかわ） 里美（さとみ）
②青い鳥成人寮
③生活支援員
④「継続は力なり」
良い時も悪い時も諦めずに続けていれば、必ず何か身になって力になる。そう信じて物事に取り組むように心がけています。

新しく採用になった皆さんです。
宜しくお願いいたします！

川柳

浅川 和多留 選

●ライトハウス川柳会

題詠（安心）

ただいまの元気な声に茶がうまい　岡部　恵子
久しぶり友から便りほっとする　萩原　満治
置き薬は安心の箱昭和の日　埜村　和美
仲直り安心してよ母の声　桑原　梅次
トントンと背中をたたく待合所　石川　昭敏
安心と信じて入居トゲがある　長田　廣子
安心のできる顔ぶれ霧も晴れ　堀内　孝春
外装の塗装終わって一安心　本間りょう
弟が病院決まり一安心　相沢　幸雄
家近し一安心で歩を緩め　小松　瑛

雑詠

病む友の空を眺めて祈る日々　岡部　恵子
着信の履歴消せずにいる未練　萩原　満治
日本が米の確保に暮れる日々　埜村　和美
雨好む紫陽花の花愛おしい　桑原　梅次
鎚は子から犬へと仕様替え　石川　昭敏
ひと言で笑い広がる老いホーム　長田　廣子
参道のほこらへ託す花一輪　堀内　孝春
老いてなお人の情けが身に沁みる　本間りょう
ラジカセもうまく使えば長持ちし　相沢　幸雄

●青い鳥老人ホーム川柳クラブ

老いの道励まし合って生きていく　影山笑美子
足腰が動かぬ体老いを知る　松木　鏡
コメ不足戦後を思い考える　山本サカエ
「しっかり」と空に「せいよ」と独り言　佐野　英夫
過去の道煙のように消えていき　齊藤はる子
しっかりとリズム体操若返り　金丸　米子
待ち合いの薬自慢で笑い声　市瀬　英子

お知らせ

第43回 長谷部賞の贈呈　受賞者　小澤 良子様

小澤さんは、昭和55年4月に山梨ライトハウス青い鳥成人寮の生活支援員として採用され、以降26年余にわたり視覚障害をはじめ様々な障害をもつ方への支援業務に尽力されてきました。また、平成18年11月からは、法人内人事異動により青い鳥老人ホームに赴任し、令和7年3月31日に退任されるまで18年余にわたり支援員、次長、施設長代理として勤務され、高齢の視覚障害者の方々への支援業務にあたるとともに、組織管理及び後継人材の育成にも取り組まれました。長年にわたり障害者及び高齢者の福祉向上に携わってきた功績は誠に顕著であります。

長谷部賞について

本賞は、昭和58年より毎年贈られていますが、永年にわたり視覚障害者の文化の向上と福祉の増進に尽力され、その功績が特に顕著な方々に贈られます。今回の受賞者も含め、これまでに46名の方と2団体が受賞されています。

赤い羽根共同募金 ありがとう

赤い羽根共同募金会から情報文化センターへ、CDレーベル印刷機「デュプリケーター」をいただきました。

製作された録音図書CDの表面（レーベル）に、収録されている録音図書の名前などを印刷するときに使用しています。一度に最大100枚印刷することができるので、大勢の方にCDを送るときに活躍しています。

甲府ロータリークラブ様より 点字プリンター・ 点字ディスプレイの寄贈

情報文化センターでは、甲府ロータリークラブ様より、点字プリンター「ベーシックD」と点字ディスプレイ「NextTouch40」を寄贈していただきました。

よりスムーズな点字データの作成と印刷ができるようになり、日々の業務に活用させていただいています。

誠にありがとうございました。

◎編集長　茂手木正人　○編集委員　柳瀬美樹、松田縁、望月苑海、手塚美香、笹本稔、水上篤、関口なおみ
※皆様からの情報をお待ちしております。